

第7回 病院事務長研修コース 参加のお勧め (病院管理士認定)

社団法人 全日本病院協会

会 長 西澤寛俊

今、保健・医療・介護・福祉において、急速なスピードで改革が進められています。その背景には、急速に進む少子高齢社会、人口減少時代への突入による財政の圧迫、国民の意識の変化などがあります。このような現状の中、国民に安全で質の高い医療を医療人が誇りと達成感を持って提供できるような環境整備を行うためには、病院経営の一翼を担うべき事務長職への役割期待はますます強まっております。

当協会では、会員病院の事務長を対象に職能練磨のための「研修」を実施し、修了時、「認定規約」に合格した者を「病院管理士」として認定いたしております。

一年間にわたり、病院経営に必要な基本知識はもとより、一般企業の経営手法を取り入れた経営計画の策定や医療会計制度の現状、情報管理やISO等による質の管理、コスト削減を意識した物品管理や委託費の削減方法さらには時代の先を読んだ自己改革の進め方など、幅広い分野にわたっての研修で、受講修了者の方々から毎年大変好評を得ております。

昨年度より、ファシリテーションと職員満足度向上を追加し、更に今年度開催される第7回では、財務に関する講義をより実践的なカリキュラムに更新した上で開催いたします。

会員各病院におかれましては、すでに事務長の育成・強化のために種々ご配慮をなされてきておられると思いますが、現下の厳しい病院経営環境の中、健全な病院経営・管理の維持・向上のために会員各病院からの積極のご参加をお待ち申し上げます。

 社団法人 全日本病院協会

全日本病院協会 医療従事者委員会
日本能率協会コンサルティング



第7回(平成20年度)

病院事務長研修コース (病院管理士認定)

受講のご案内

ALL JAPAN HOSPITAL ASSOCIATION

- 受講資格
- 現在所属している病院／施設での職歴1年以上の病院事務長、またはこれに準ずる職歴2年以上の経験を有する方で、理事長・院長が適格と認めた方(各病院1名)
 - 受講者は全日本病院協会の会員病院職員であること。

- 開講期間／平成20年5月～平成21年1月
全8単位、各単位2～3日間、1日目13時～最終日15時まで、宿泊研修
- 受講料金／1カ年・全8単位 480,000円(宿泊費・食事代含む)
- 受講定員／36名
- 会 場／チサンホテル浜松町 〒105-0023 東京都港区芝浦1-3-10
TEL.03-3452-6511 FAX.03-3452-9241
- 申込締切／平成20年4月17日(木)

 社団法人 全日本病院協会

評価試験合格者には、全日本病院協会が『病院管理士』の認定証を発行

Program ●講師は変更になる場合があります。

第1単位 平成20年5月17日・18日(2日間)

これからの病院経営と事務長の役割

●講師/慶應義塾大学医学部教授 池上直己、かなえキャピタル取締役 藤井啓吾

これからの医療行政の動向を踏まえ、改めて病院経営管理者としての事務長の果たすべき役割を認識すると同時に、各事務長間の交流を深め、相互研鑽を図ります。

■内容:医療制度改革と病院の対応課題、事務長に求められる役割と能力、よい事務長の条件、「これから期待される事務長とは?」、病院経営実態調査結果に基づく現状の問題点とマネジメント課題 他

■演習
PSカード法による
チーム討議と発表

第2単位 平成20年6月28日・29日(2日間)

院内コミュニケーション強化に向けたコーチング

●講師/日本能率協会コンサルティング 田中 信

院内コミュニケーションの円滑化と職場の活性化に向け、事務長として必要な「コーチングとファシリテーションの基礎と応用」について、演習を中心に習得します。プレゼンスキルについても触れます。

■内容:職員の動機づけと職場活性化、コーチングの基礎・応用、会議設計とファシリテーション

■演習
グループ内コーチングの実践、
会議運営の実際 他

第3単位 平成20年7月19日・20日・21日(3日間)

第3単位-1

病院医療会計の基本と財務管理

●講師/日本能率協会コンサルティング 飯田真吾

病院経営の基礎となる医療会計制度の基本を学びます。

事務長としての財務の基本を学び、財務的センスを演習を通じて習得します。特に決算書の分析を通じ、病院の問題点と改善検討を行います。

■内容:医療会計制度の現状と特徴、勘定科目の立て方についての留意点、医療法人における管理会計、収益管理と原価計算の必要性とその方法、業績管理、予算管理、月次決算と試算表の作成、キャッシュフロー会計、資金繰り表の作成 他

■演習
決算書(損益計算書および
貸借対照表)の分析

第3単位-2

これからの人事労務管理の基本と実践

●講師/日本能率協会コンサルティング 栗原俊夫

病院施設の最適な人事および労務管理を検討するために、基本的な考え方や手法を習得します。

あわせて人事諸制度の全体構造と機能の関連、管理上必要な職能や人材区分、今後あるべき給与体系を講師の解説と、参加者の討議を踏まえ、理解します。今後の人事労務管理において重要となる「職員満足度向上」についても言及します。

■内容:経営と人事管理、人事戦略の経営と人事管理、人事戦略の立て方、人事制度の構造と機能、人材区分と昇進昇格、給与の機能と仕組み、人事評価、人材教育と育成、要員管理、労務環境管理のポイント 他

■演習
事例をもとにした
問題解決討議

第4単位 平成20年8月9日・10日(2日間)

病院情報システムの構築と個人情報保護

●講師/日本能率協会コンサルティング 田村健二、廣田正人

情報システムの企画段階から、調達、運用、それぞれにおける留意点について、また具体的なテーマ(オーダリングシステム、クリニカルパスなど)を上げ、病院情報システム構築の考え方を、演習をまじえて実践・習得します。個人情報保護。

■内容:病院情報システムの動向、システム構築の進め方、業務の見直しから、目標設定、システム要件の整理、業者の選定方法などをシステム構築・運用の流れにそって解説

■演習
デモ・演習など、及び
参加者優良事例紹介

第5単位 平成20年9月6日・7日(2日間)

病院のものの流れと物品管理(SPDの導入・活用を含めて)

●講師/日本能率協会コンサルティング 竹原栄二

病院の機材、備品などの発注、受入、維持管理などを最適に行うための基本的な考え方と方法を習得します。また、薬品・劇物・医療用機材・介護用品・消耗品の発注、在庫管理、消費、廃棄に関する管理のしかたを学びます。同時に院内感染対策についても習得します。

■内容:薬剤、医療用品などの発注、保管、在庫管理、廃棄物管理、環境マネジメントとISO14000

■演習
事例をもとにした
物品管理改善討議

第6単位 平成20年10月11日・12日・13日(3日間)

第6単位-1

院内業務再設計に基づく要員適正化

●講師/日本能率協会コンサルティング 白濱伸也、平林晃一

院内業務の最適化を検討するための、院内業務機能の再設計、院内諸サービス業務のアウトソーシングなどの検討などを演習や事例を通じて学びます。基本的要件や考え方、業務システムにおける業務機能を明確にし、業務システム設計の具体的進め方を学びます。実習モデルに基づき、作業の負荷や稼働分析など最適作業設計の方法を学びます。

■内容:病院における業務再設計の必要性、業務システムの要件、品質作業設計の必要性、業務システム設計の進め方(現状の把握、業務量算定、課題設定、解決策の検討など)。医療事故、リスク対策、ISO取得のポイントと功罪...など

■演習
グループ討議による
業務最適化検討

第6単位-2

委託費削減とその他経費の削減

●講師/日本能率協会コンサルティング 萩原正英

費用削減に影響が大きい委託費削減の実際的方法を事例を交えて習得します。

■内容:委託費の着眼点と削減方策、大幅委託費削減の実際例と成功のポイント...など

■演習
グループ討議による
委託費削減方策検討

第7単位 平成20年11月1日・2日・3日(3日間)

経営健全化に向けた病院経営診断と経営計画策定演習

●講師/かなえキャピタル取締役 藤井啓吾

経営理念、経営方針から経営計画策定・行動計画化までの流れと、計画策定・経営管理責任者としての事務長の役割を学習する。病院経営診断の実際、病院を取り巻く外部環境、内部環境の分析手法等の知見を広げる。広義の「リスク管理・危機管理」についても言及する。

■内容:戦略経営の概念、経営理念と経営方針、病院経営診断の実際、経営計画策定のポイント、課題/バラシと行動計画への「レイト」の、病院経営の問題点とマネジメント課題抽出、市場規模調査、顧客満足度調査法、ライバル病院分析、BSC(バランス・スコアカード)の基礎と病院経営への導入...その他

■演習
事例による病院改善演習や
自病院の経営計画策定演習

第8単位 平成21年1月17日・18日(2日間)

総合演習

●講師/慶應義塾大学医学部教授 池上直己 かなえキャピタル取締役 藤井啓吾

病院の現状を財務面、業務面等から分析し、病院の経営戦略および経営改善計画を立案する。

■演習
経営計画総合発表、相互啓発・グループ討議、その他

●全8単位修了者には「修了証」授与、評価試験合格者には病院管理士の「認定証」を発行いたします。